

青木公民館だより

あおきだより



発行：川口市立青木公民館 編集：青木公民館長 小野田 勇
住所：川口市中青木3-18-7 電話：048-251-6534

今月の休館日
6日 13日 20日 27日

※市ホームページでもご覧いただけます。



子ども卓球教室 参加者募集!!



日 程	
6月	11日(土)・25日(土)
7月	9日(土)



※8月は、お休みです。
9月からまた始まります。

楽しい教室の風景(5/14)



親も子供に負けずに練習



先生に教えてもらい上手に打てるように、
友達ともラリーが出来るようになりました!

時 間 午前10時~12時
参加費 無料
対 象 小学生
会 場 青木公民館 2Fホール
持ち物 体育館シューズ
水筒等(水分補給ができるもの)



公民館休館日

6月	6日 ・ 13日 ・ 20日 ・ 27日
7月	18日(月)が海の日で祝日のため開館し、17時までの利用です。 19日(火)は休館となります。



おやこの遊びひろば

お子さん連れでくつろげるフリースペース

◎ 開催時間 1回目 遊びの時間 9:10~10:10 ★1日1回のご利用となります。

入れ替えのタイミングで換気・消毒作業を実施

2回目 遊びの時間 10:30~11:30



◎ 定員組数 6組

◎ 場 所 青木公民館 日本間

◎ 対 象 川口市内の概ね3歳までの子どもと保護者、もうすぐママの方

6月の日程

土曜日	4日・11日・18日・25日
日曜日	5日・12日・19日・26日

お問い合わせ

川口市役所 子育て支援課 048-258-1112 (直通)

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、状況により中止となる場合がありますのでご了承ください。

生き生きデイサービス事業

主 催 川口市(長寿支援課)

事業運営 NPO法人スポーツ・サンクチュアリ・川口

対 象 者 65歳以上で市内に住所を有するかたで通所できるかた。

定 員 青木公民館 10名程度、青木東公民館 10名程度

申 込 み 不 要

費 用 無 料

問い合わせ NPO法人スポーツ・サンクチュアリ・川口

TEL 048-253-9700



6月の日程・会場 : 青木公民館 会議室2

6月のテーマ: 「筋力アップで気力もアップ」

開催日	実施時間	実施内容
6月1日(水)	11:30~12:10	※握る力・つかむ力をつけましょう
6月8日(水)	11:30~12:10	自宅でできるかんたん体操 シリーズ備え: 大雨
6月15日(水)	11:30~12:10	※力を発揮する筋トレ シリーズ備え: 水分補給の大切さ
6月22日(水)	11:30~12:10	みる・応援する スポーツで楽しもう! フレイル予防のお話

7月の日程・会場 : 青木東公民館 練習室

7月7日(木)	11:30~12:10	※リズムで遊びましょう♪ シリーズ備え: 熱中症対策
---------	-------------	-------------------------------

7月の2週目以降については、翌月の館報をご確認ください。

※印については、終了後に健康生きがいづくりアドバイザーによる「耳より話」を10分程度実施。

市民大学前期講座 参加者募集

バロック美術入門講座 ～光と闇のイタリア絵画史～

- ★会場：青木公民館 1階 講座室
- ★対象者：市内在住・在勤・在学の方で18歳以上のかた
- ★定員：20名（申込多数の場合は、抽選となります。）
- ★費用：無料
- ★持ち物：筆記用具
- ★講師：川合 真木子（千葉大学大学院 人文科学研究院 助教）
- ★申込受付：7月1日(金)から7日(木)往復はがき・インターネットにて受付します。
- ※窓口及び電話での申し込みは受け付けておりません。



インターネットからのお申込はこちら

開講日	時間	内容
8月2日(火)	19時00分 ～ 20時30分	カラヴァッジョとカラヴァッジョ派の画家たち 17世紀イタリア絵画の革新者とも言われる画家、カラヴァッジョ。バロック美術の中心地となったローマを舞台に、明暗に彩られた彼の作品と、追従者たち（カラヴァッジョ派）の活動を見ていきます。
8月9日(火)		カラッチとボローニャ派の展開 カラヴァッジョのライバル、アンニーバレ・カラッチは、ボローニャ派の代表的存在として知られています。ボローニャ出身のカラッチを中心として形成されたボローニャ派が、カラヴァッジョ派とならんでバロック絵画の一大潮流となる様子を追っていきます。
8月16日(火)		知られざる女性画家たちの活躍 バロック美術の担い手として、女性たちの存在も忘れてはいけません。ローマ出身のアルテミジア・ジェンティレスキ、ボローニャで活躍したエリザベッタ・シラーニなど、知られざる女性画家の活動を紹介していきます。
8月23日(火)		各地で花開くバロック美術 ローマを中心とした華やかな展開を見せたバロック美術ですが、一方で、都市ごとの個性も見どころです。フィレンツェやナポリなどで発展した17世紀絵画の多様な側面を紹介しながら、この時代の美術への理解を深めていきます。

★新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、状況により定員等の変更・中止となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

往復はがきでの応募方法

往信面（料額印刷が青色）

63円	〒332-8601 青木公民館 2の1の1 1
申込者住所氏名	入川市美術事務局 バ川口市民大学 涯市習課 生学課

返信面（料額印刷が緑色）

63円	〒申込者郵便番号	■氏名 (フリガナ)
申込者住所氏名		■年齢
		■住所
		■電話番号



梅雨入り宣言はいつ？

気象庁では梅雨入りに定義は決めていません。平年の梅雨入り前後に、晴れが続いた後、週間天気予報で雨や曇りの日が続くと予想される時に「梅雨入りしたとみられる」と発表するそうです。



クラブ員募集

公民館では自主的に集まった方々で文化・芸術・健康・学習など様々な内容の活動を行っています。敷居が高くないと思わずに、ぜひ見学だけでもお越しください。新しい自分が見つけれられるかもしれませんよ。

やさしい健康ヨガ

40代から70代の女性の為の、健康ヨガサークルです。無理なく体を動かします。ぜひ、体験してみてください

活動日 毎週金曜日
時間 9時15分～10時15分
会費 月 4000円
入会金 なし



公民館職員の独話

～聖地巡礼～



先日こんなお電話が……。『ずいぶん昔の話になるけど、当館にて食生活改善推進委員として活動をしていた。4月号の職員独話の記事を見て、味噌づくりをした当時の思い出がぐっと込み上げてきた。懐かしくも大笑いしながら楽しく記事を読みふけり、いてもたってもいられなく電話をした。』とのことでした。大変うれしいお言葉をいただきました。こんなつたない文章ではありますが、一段と気を引き締めて邁進する所存でございます。本業も頑張れとの声も聞こえてきそうですが(笑!)どーも、青木公民館のKでございます。

公民館休館日のとある日。次男とともに我が家にとって聖地ともいえる『さいたま水族館』へ足を運びました。今回はゲストに両親もそろって巡礼です。コロナ禍のため正門入り口にて連絡先の記入を行い、受付のため社務所へと歩を進めます。おっと参拝前の大事な儀式、正門をくぐる際は深く一礼!!(これ大事!)

年間パスポートホルダーのため、スムーズに受付といきたいところではありますが、今回は両親の参拝料を納めます。境内に入りますと右手の大池にはたくさんのコイ・ハクレン・ソウギョなどが優雅に泳いでいます。そそくさと次男は御神魚への神饌の準備をすると、満遍なくまき始めます。その購入から巻き始めまでの一連の所作には、研鑽を積み重ねた結果の卓越した熟練の技能者の風格さえ感じられます!!両親もつられるようにまき始めます。すると多量の御供物に御神魚のボルテージが自然と上がり始めると、ワタクシはすぐさま何かを察知し半歩下がります。次の瞬間『ハツシャ〜ン!』息子と両親はかるくずぶ濡れになり、しっかりと洗礼を浴びます。(通称お清め)若干テンションの下がった息子は境内の奥地へと向かいます。

更に歩を進めるとご本尊でもある『カワウソ様』のお出迎えです。今日は平日なので『最前列で見放題!!!!』にもかかわらず、次男は目もくれません。彼の目的はティラピアやコロソマなどの熱帯性の魚たち。『え〜カワウソと写真とろうよ〜』のワタクシの声は響かず(泣!)移動後、残りの御供物を配り終えいよいよ館内へ。

次男は館内に入ると先ほどとは打って変わって、スタッフばりの説明が始まりました。

『ウーパルーパーだよ。ザリガニ〜、タガメ〜』など知りうる知識を総動員して両親に説明しまくります。

とあるコーナーに差し掛かりました。そう! 亀のふれあい体験コーナーです。まん延防止などの発出中は休止となるため、今回はあれやこれやと存分に楽しもうとしたそのとき……。

「わぁっ大変だ!」両親の声が館内に響き渡ります。すぐさま近づくと両親の視線の先には鎌首をもたげ上げたアオダイショウ(へび)の姿が!?更にその視線の先にはアマガエルがじっと身を潜めています。まさに蛇に睨まれたカエル。息をのむほどの見えない心理戦が繰り広げられています。ここは弱肉強食の世界。カエルは逃げれば勝ち。へびは捕まえられなければ負け。どちらに勝敗が決まるのか両親も固唾を飲んでその行く末を見守ります。数分が数時間に感じられるような時間感覚に襲われ、業を煮やした父親が『カエル逃げろ〜!』すかさず母親も『カエルさん逃げて〜!』白熱した応援が飛び交ったそのとき……。

次男から一言。『これお人形さんだよ〜』そうなんです。蠟人形で出来た展示物のひとつだったのです。急な現実世界に引き込まれ赤面する両親。もっばら5歳児にタジタジです。

